

## 【目的別歳出】

目的別経費の構成割合をみると、民生費37億5,221万8千円（構成比28.0%）が最も大きく、次いで教育費29億5,698万4千円（同22.0%）、総務費18億3,573万5千円（同13.7%）、土木費16億5,448万5千円（同12.3%）の順となった。

総務費、民生費、衛生費、教育費などが増となる一方、農林水産業費、土木費、公債費、諸支出金などが前年度に比べ減となった。

総務費は、2億5,040万8千円（15.8%）の増で、役場庁舎省エネ改修事業（LED照明器具へ切替）や財政調整基金への積立て、被災地復興支援事業などが要因となった。民生費は、3億1,590万円（9.2%）の増で、障害者自立支援事業などの社会保障経費の増大や介護保険事業特別会計への繰出しの増額などが要因となった。衛生費は、9,753万2千円（7.1%）の増で、母子予防接種事業における乳幼児任意予防接種（ヒブ、小児用肺炎球菌等）の実施や塵芥焼却場の改修費用の増額などが要因となった。教育費は、2億7,500万9千円（10.3%）の増で、多目的屋内健康施設の整備に着手したことや、小・中学校の空調機設置工事の実施、文化センターのホール照明改修工事の実施などが要因となった。諸支出金は、2億6,389万3千円（83.0%）の減で、健康づくり施設等用地取得事業を多目的屋内健康施設の整備開始に合わせて、教育費に予算計上したことにより事業費が減額したことが主な要因となった。

### 一般会計歳出決算状況（目的別）

（単位：千円・%）

款 別	予算現額 (A)	決算額 (B)	(A)－(B)の内訳		平成22年度 決算額(C)	増減額 (B)－(C)	(B)の 構成比
			翌年度繰越額	不用額			
1 議会費	154,281	152,160	0	2,121	115,840	36,320	1.1
2 総務費	1,905,807	1,835,735	0	70,072	1,585,327	250,408	13.7
3 民生費	3,882,743	3,752,218	108,296	22,229	3,436,318	315,900	28.0
4 衛生費	1,515,193	1,469,847	0	45,346	1,372,315	97,532	11.0
5 労働費	107,711	90,945	0	16,766	125,307	△34,362	0.7
6 農林水産業費	73,243	68,578	0	4,665	103,507	△34,929	0.5
7 商工費	128,868	111,063	7,507	10,298	118,332	△7,269	0.8
8 土木費	1,954,391	1,654,485	258,210	41,696	1,939,321	△284,836	12.3
9 消防費	575,412	565,821	0	9,591	466,130	99,691	4.2
10 教育費	3,026,727	2,956,984	0	69,743	2,681,975	275,009	22.0
11 災害復旧費	4,829	4,741	0	88	0	4,741	0.0
12 公債費	714,152	713,624	0	528	769,508	△55,884	5.3
13 諸支出金	54,108	54,107	0	1	318,000	△263,893	0.4
14 予備費	53,248	0	0	53,248	0	0	—
計	14,150,713	13,430,308	374,013	346,392	13,031,880	398,428	100.0